

科目分類	共通教養科目	単位数	2
時間割コード	GR11011	履修年次	1年
授業科目・題目	現代大学論 -大学を知り, 大学で学ぶ-	開講学期	前期
授業科目・題目 (英語)	Introduction to University	曜日・時限	金(5限,6限)
科目コード	GR11010	選択/必修	選択
主担当教員	山田 剛史	履修資格	1年

主担当教員一覧

授業形態	講義と演習
授業の目的	高校から大学に入学して, 学びの形は受動的なものから能動的・主体的なものへと変わります。大学で学ぶとはどういうことなのか, 大学生とはどういう存在なのか。単なる講義(知識伝達)ではなく, こうした問いについてしっかり考え, 議論し, 自分の言葉で説明する場となるよう授業をデザインしています。本授業を通じて, 大学生活を有意義なものにするための基盤を築いてもらうことが最大の目的です。
科目の達成目標 (達成度)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の歴史や意義・役割について説明することが出来ること(知識) 2. 大学生としての自覚を持ち, 学生生活のビジョンを描くこと(態度) 3. 学習観の転換を図り, 主体的・能動的に学ぶ姿勢を身につけること(態度) 4. 論理的思考力とそれを伝える表現力を身につけること(技能) 5. 他者の意見を聴き, 協調性を身につけること(技能)
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 大学で学ぶ上で必要な知識・技能・態度 3. 大学の歴史1: 大学の誕生 4. 大学の歴史2: 日本の大学の変遷 5. 大学を知る1(グループ活動1) 6. 大学を知る2(グループ活動2: 発表会) 7. 大学と学問: 教養教育と専門教育, 学習観の転換 8. 大学と社会: 大学とキャリア 9. 大学生の心理1: 大学生(キャンパスライフ)の変遷 10. 大学生の心理2: 現代の大学生 11. 大学生を知る1(グループ活動3: テーマ・目的・方法の設定) 12. 大学生を知る2(グループ活動4: 調査計画・データ収集) 13. 大学生を知る3(グループ活動5: 分析・まとめ) 14. 大学生を知る4(グループ活動6: 発表会) 15. 授業のまとめ: 振り返りと最終レポート, 授業評価
授業の進め方	講義内容を踏まえ, 適宜ディスカッションとプレゼンテーションを行い, その内の2回は調査課題を設けています。授業は常にグループ単位の学習形態を取ります。講義の終了時にはリフレクションシート(5分程度)を, 次回講義時にはチェックテスト(5分程度)をそれぞれ行います。
授業キーワード	大学適応, 学習観の転換, 学習スキル, 社会的スキル
テキスト	基本的には, 毎回授業レジュメを作成・配布します。
参考文献	<p>朝日新聞社編(2004)「AERA Mook: 勉強のやり方がわかる」(No.98) ISBN:4022741481 (¥1,300)</p> <p>溝上慎一(2006)「大学生の学び・入門-大学での勉強は役に立つ!」有斐閣 ISBN:4641122822 (¥1,680)</p> <p>金子元久(2007)「大学の教育力-何を教え, 学ぶか」ちくま新書 ISBN:4480063846</p>

	(¥714) 溝上慎一(2006)「現代大学生論ーユニバーシティ・ブルーの風に揺れる」NHK出版 ISBN:4140019956(¥1,019) その他, 適宜指示します。
その他授業資料等	適宜配布します。
成績評価の方法	達成目標1(知識)の評価…チェックテスト(15点), リフレクションシート(10点) 達成目標2・3(態度)の評価…リフレクションシート(10点), グループワーク(10点), 最終レポート(10点) 達成目標4・5(技能)の評価…リフレクションシート(5点), グループワーク(30点), 最終レポート(10点) *なお, 4回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります(1回の欠席につき3 点減点)
履修上の指導	授業は講義に加えディスカッションや発表等を組み込んだ学生参加型授業によって 構成されます。こうした性質上, 出席はもちろんのこと, 積極的な受講態度が必須条 件になり, 聞くだけの講義を期待している学生は遠慮していただきます。関連して, 本授業は授業時間外での学習が必要なように設計しています。良い授業になるよう 努力します。頑張る学生のみなさんの期待は裏切りません!
オフィスアワー	授業期間中の木曜日 11時45分~12時45分 質問等は, E-mail:t-yamada@soc.shimane-u.ac.jp まで(上記時間帯以外でも随時 受け付けます。積極的に活用して下さい)
その他	本授業は, 高校から大学への円滑な移行および大学生活への適応を促すことを意 図した「初年次教育プログラム」の一環として位置づけています。そのため, 受講対 象者を原則として1年生に限定しています。大学生の学びのスタートを応援します!

担当教員一覧

教員	所属
山田 剛史	教育開発センター

[前の画面へ戻る](#)